

# 平成 27 年度 こぼと保育園 事業計画書

## 1 基本理念

### ☀ “太陽と泥と仲間と”

「太陽のもとで、泥だらけになって、思いっきり友達と遊んですごす」

## 2 目標

- ① 健康な こどもらしい 明るい 個性豊かな 想像力のある こども
- ② 仲間への 連帯感 思いやり やさしさ のある こども
- ③ 自分ができた、うれしい 仲間もできたもっとうれしい！と感じられる こども
- ④ 年齢に応じた基本的生活習慣の確立をめざしたい

## 3 保育の方針 保育内容

- ☀ 小さいときから、からだづくり 全身発達を促すからだづくり
- ☀ クラス活動(主活動) 散歩 ボディー・ペインティング どろんこ リトミック 自由画  
絵具遊び 折り紙 三つ編み 製作(はさみ のり) 栽培 飼育
- ☀ 縦割り保育(3～5 歳) リトミック(全年齢で週 1 回の取り組み) 製作 探検ごっこ お店屋さんごっこ
- ☀ 一泊保育 就学に向けて、自律心を育成
- ☀ 園外保育 街中なのに付近には青少年の家、森、公園がたくさん 自然にふれる実体験豊富  
春、秋遠足
- ☀ 指先の活動とその作品展 のこぎり作業(竹馬製作) 針仕事 壁面共同製作 自由画
- ☀ ことば集め あそびの中で身の回りのことばを「あ ～ ん」まで集める
  - 「さあ、やりましょう」とは言わないで「なにがやってみたい？」
  - こどものやる気をひきだしたい
  - こどもたちのやりたいことをやらせたい
  - こどもたちでこどもたちの生活をつくっていく

## 4 在園児数 予定

○27 年度 行政「子ども・子育て支援」による新制度導入

定員の遵守 → 定員の弾力運用(定員の年間平均 120 パーセント在籍)の廃止

平成 27 年度 在園児予定数 年間平均 127 名 (定員 120 名の 110% 枠 132 名以内)

平成 20、21、22、23、24、25、26 年度は年間平均 114、116、120、133、143、135、134 名  
(20～21 年度旧園舎、22 年度プレハブ園舎、23 年度から新園舎)

表① 26 年度月ごとの在園児数予定 (下段は 25 年度)

年、 月	H27 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H28. 1	2	3
在園 児数	125	124	124	124	125	126	127	128	128	129	131	131
年、 月	H26. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H27 1	2	3
在園 児数	130	131	131	133	133	134	134	134	135	135	136	138

## 5 職員採用

保育士 H27.4.1 職員採用 1名 退職した職員の代替  
給食室 H27.4 職員採用 2名 退職した職員の代替

## 6 年間行事予定

こばと保育園年間行事予定表による。

## 7 保護者、地域に対して

従来のこばとのシステムを保ち続ける。

○ 担任と保護者同士が直接会っての受け入れ、お迎え(乳児)

朝夕の送迎時、こどもの様子、体調が一番わかっている保護者、保育士の間で、直接引き継ぎが行われる安心感を大切にしている。

○ 地域、保護者等への育児講座

○ 年齢別児の保護者懇談会(おやばと会 月一回)

○ 保護者参加の異年齢児交流事業(夏祭り、運動会、バザー、クリスマス会)

さまざまな交流 地域への園庭開放、プール開放(夏季のみ) 卒園児童、聴覚特別支援学校幼稚部など 詳しくは年間行事予定表参照

○ 個人情報保護等、園内のコンプライアンス確立

## 8 特別保育等

### ○第2種社会福祉事業 一時預かり事業

平成23年度より5年目

目標 年間400~500人程度

### ○保育園 親子ひろば(園庭開放、プール、どろんこ遊び、育児相談、講演会)

平成23年度より4年目

目標

園庭、ホール、プール等の開放 60回程度/年間

講演会、行事 20回程度/年間

保護者参加 200人程度/年間

こども参加 200人程度/年間

○障がい児等保育 継続

○アレルギー除去食 継続 数名

○外国人児童保育 継続 1名

## 9 在園児減少による収入見込

・27年度の年間平均在園児は、127名で26年度134名と比較して7人の減少となる。(前述の新制度により定員の110%以内の在園児数に収めるため。)

5の保育士1名の退職に対応して、勤務歴20年~34年の保育士(常用5名、短時間2名)、勤務歴12~16年保育士(常用2名、短時間2名)のベテラン保育士層の厚さで対応する。

## 10 その他

・新園舎5年目、さらに新しい取り組みを積極的に行う。

- ・食育、子育て支援等、ニーズにあった新しい保育園の在り方を模索していく。
- ・こばと保育園の保育の特色である、全年齢におけるリトミックについて、最新情報の取得、グレードアップに努めたい。リトミック発祥の地である保育園への研修も検討する。
- ・事務関係の簡略化をはかる。パソコンの積極的導入等(職員の書く、各クラスにおける保育の月案と反省をパソコンで作成 一部職員で実施中)
- ・27年度からの子ども・子育て新制度により、年間入所率 27年度は定員の 110% 132人、28年度 105% 126人と暫定的に規定される。29年度以降は定員通りの 120名の在園と規定される。その中で質の高い保育を目指す。
- ・ベテラン職員の定年退職にあわせて、若手職員の積極的登用で世代交代を行う。
- ・福祉医療機構への4年目になる返済を継続して履行する。
- ・感染症対策(特にノロウイルス)の向上をはかる。
- ・防災のソフト、ハード面の充実をはかる。

以上